

勤 労 婦 人 の 母 性 意 識

研究協力者 宮原 忍 (東京大学医学部)

共同研究者 松岡 恵 (東京大学医学部)

新道 幸恵 (国立公衆衛生院)

高木 広文 (聖路加看護大学)

1. はじめに

我々は、母性意識に関する研究を成熟期未婚女性、妊婦、褥婦を対象に実施してきた。妊婦、褥婦については、横断的並びに縦断的に妊娠初期から産後1年まで追跡調査を実施してきた。

これらの研究は、勤労妊婦のみを対象にしたものではないが、対象者或はその母親の勤労と対象者の母性意識について興味深い結果がみられたのでここに報告する。

2. 方法

対象：東京都内の私立看護大学学生102人及び東京都内の私立総合病院、東京近郊の私立大学病院に受診或は分娩した初産婦200-236人。

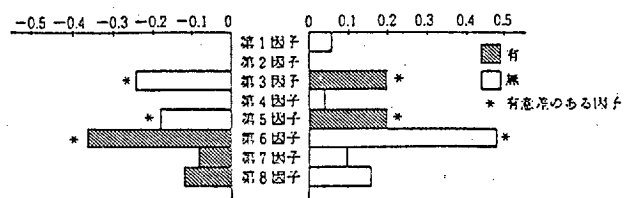
方法：母性意識及びそれに関連ある項目を内容とした自己記入式質問紙による調査表を調査者が直接配布、或は郵送した。

分析方法は、単純集計の外に因子分析(バリマックス法)を行い、母性意識に関する因子を抽出し、各因子得点の対象特性による差を検討した。

3. 結果並びに考察

1) 成熟期未婚女性(女子大生)の母性意識とその母親の職業の有無との関係

因子分析の結果、8つの因子が抽出された。それらの因子と実母の職業の有無について分散分析した結果図1のように第3、5、6因子との間に統計的に有意な関連性がみられた。つまり、母親が職業を持っている場合には、本人も職業志向になり、結婚し、育児、家事に従事するという伝統的女性役割を受容するものは少ないと言う傾向がみられた。更に、母親が職業を持っていて、小学生の頃から母親が不在がちの場合には、お洒落を楽しむ、避妊の知識もあり、恋人やボーイフレンドと交際している現在の生活をエンジョイすると言う傾向がみられた。



2) 妊婦の母性意識やその関連要因と本人の職業の有無

因子分析の結果9つの因子が抽出された(累積寄与率22.2%)。本人の職業の有無と

統計的な有意差の認められた因子は、
図1、2のように第6、9因子であった。

このことから、妊婦で職業を持っているものは、
職業のないものに比べると危険や困難に
後込みすると言ふような臆病な性格のものは
少なく、妊娠中や、妊娠末期に訪れ易い、

分娩の困難性を予期してそれに不安を感じる^{方が}_{少なく}
それを克服し易いという傾向を示すものと
考えられる。しかし胎児の存在を意識し、
害になることを避けるなどの母性行動を
取るものが少ない傾向もみられる。

3) 産褥早期の母親の母性意識やその関連要因と本人の職業

因子分析の結果7つの因子が抽出された(累積寄与率32.4%)。しかし、それらの因子と本人の職業の有無と統計的に有意な関係は認められなかった。これには、この調査時点には、対象者は全員病院に入院中であり、かつ職業を有するものも産休中であることが関係していると思われる。

4) 産後1ヶ月の母親の母性意識と本人の職業の有無

因子分析の結果、抽出された7因子(累積寄与率17.6%)のうち本人の職業の有無と関連性のみられたものは、未熟な性格因子であった(図4)。つまり職業を持つものは、職業のないものよりも他者に依存したり、他者の意見に左右されたりすることが少ない傾向があると言えよう。この傾向は、育児と家事を両立させなければならない

働く母親に取って、又育児はドイツ語が
言っているように自己犠牲を要求するものであり、

母親にはマゾヒズム傾向が求められる、
ということから考えると母性意識や
母性行動に肯定的な要因も、働く母親は
有していると言えよう。

4. 今後の課題

これまでの調査結果では、母性意識に関連する要因との関連性はみられたが、母性意識そのものとの関連性はみられなかった。これは、標本数の少なさが影響していることも考えられるので、今後動

図2 第6因子と本人の職業の有無(妊娠期)

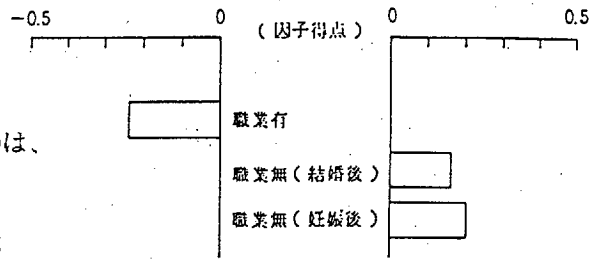


図3 第9因子と本人の職業の有無(妊娠期)

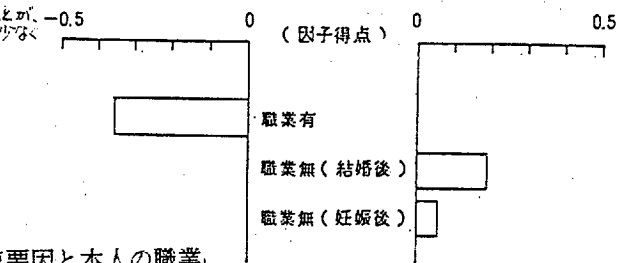
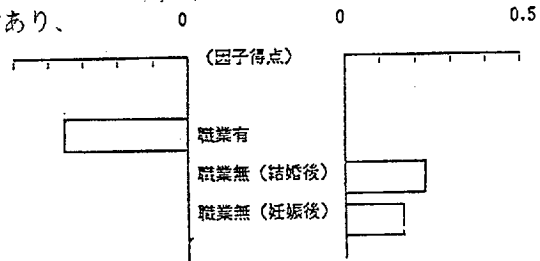
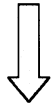


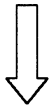
図4 第2因子と本人の職業の有無(産後1ヶ月)



労働者を対象にして調査を行い、母性意識やそれに関連する要因と職業の有無、仕事への動機、意欲、重要他者の支援等の関連性をみるとともに、母性意識やその影響要因が勤労婦人に、特有性があるか否かを家庭婦人をコントロールとして比較検討していく予定である。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



1.はじめに

我々は、母性意識に関する研究を成熟期未婚女性、妊婦、褥婦を対象に実施してきた。妊婦、褥婦については、横断的並びに縦断的に妊娠初期から産後1年まで追跡調査を実施してきた。

これらの研究は、勤労妊婦のみを対象にしたものではないが、対象者或はその母親の勤労と対象者の母性意識について興味深い結果がみられたのでここに報告する。